

令和6年12月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 令和6年12月20日（金）

II. 開会及び閉会
開 会 13時27分
閉 会 14時45分

III. 出席委員

教 育 長	萩 原 康 正
委 員	山 本 正
委 員	井 手 康 人
委 員	平 松 美 由 紀
委 員	金 光 一 雄

IV. 出席職員

教 育 次 長	山 本 正 樹
総務学務課長	河 原 克 仁
総務学務課参事	渡 邊 裕
総務学務課参事	片 岡 学
社会教育課長	櫻 田 智 子
公民館館長	富 岡 潤
図書館館長	小 林 裕 治
学校給食調理場所長	森 山 光 晴
社会教育課スポーツ推進係長	二 丹 裕 樹
総務学務課総務係長	藤 井 大 樹
総務学務課主事	富 浦 沙 樹

V. 議事の内容

1. 開 会

2. 教育長報告について
萩原教育長

【受賞関連】

○【「明るい家庭づくり」作文（県青少年育成県民会議）】

優秀 邑久小学校 4年

優良 国府小学校 1年、牛窓東小学校 6年

邑久中学校 3年、長船中学校 保護者 中川愛さん

佳作 国府小学校 2年、行幸小学校 3年

邑久小学校 5年、牛窓中学校 1年

牛窓中学校 2年

○【県民局表彰】

12 / 4（水）

土井和子さん・長尾吉美さん（青少年育成運動相談員10年以上）

○【わかば賞】

12 / 24（火）

邑久高等学校3年 井上駿斗さん、竹内栄翔さん、林 龍星さん、原 脩哉さん

【市議会関連】

○ 11月定例会

～12 / 18（水）

提出議案

・同意第 2号 教育委員会委員の任命について

・議案第 91号 令和6年度瀬戸内市一般会計補正予算（第5号）

・議案第105号 瀬戸内市中央公民館防災・減災改修工事に伴う工事請負契約の締結について

○ 一般質問

12 / 3（火）～5（木）

・ゆめトピア長船や長船支所等の土地の整備と管理について

・児童生徒と教職員の GIGA スクール端末の更新

・こどもみらいサポートセンターの現状と施設整備

・蛍光ランプのLED照明への切り替え（幼稚園・小学校・中学校の状況）

・牛窓西幼稚園について

・教育長の所信

・学校指導形態（牛窓学区の一貫校形態に向けての教育委員会の考え）

・邑久自然の森キャンプ場の充実

・子どもが安全に安心して過ごせる環境整備（体育館エアコン、夏季休業中のクールスポット、公園、来年度からの給食の無償化）

・学校園とPTAの関係性

・給食費

・困難を抱えた方が生活しやすくなるために（児童虐待、ヤングケアラー）

・障がい児支援（通学支援）

○ 議案質疑（質疑、討論、採決）

12 / 6（金）

・討論・採決：同意第2号 教育委員会委員の任命 <同意>

- 総務文教常任委員会、予算常任分科会 1 2 / 9 (月)
- 予算常任委員会：全体会 1 2 / 1 7 (火)
- 本会議：閉会（質疑、討論、採決） 1 2 / 1 8 (水)

【会議・行事関係】

○ 総務学務課関係

(市教委関連事業)

- ・市校長会 1 2 / 3 (火)
- ・生徒指導担当者研修会③ 1 2 / 6 (金)
- ・市園長会 1 2 / 1 2 (木)
- ・いじめ対策連絡協議会② 1 2 / 1 3 (金)

(学校園関連事業)

- ・生活発表会
 - 牛窓東幼、国府幼、行幸幼 1 2 / 6 (金)
 - 邑久幼 1 2 / 4 (水) ～ 6 (金)
- ・犯罪被害者講演会：長船中 2 年 1 2 / 1 2 (木)
- ・参観日、保護者懇談等
 - 全校園 1 2 月中
- ・第 2 学期終業式（幼・小・中） 1 2 / 2 4 (火)
- ・学校閉庁日（部活動休止） 1 2 / 2 8 (土) ～ 1 / 3 (金)

○ 学校給食調理場

- ・給食配食最終日（幼・小・中） 1 2 / 2 3 (月)

○ こどもみらいサポートセンター

- ・列車巡視 1 2 / 9 (月)
- ・おかえりコール（邑久駅） 1 2 / 1 7 (火)

○ 社会教育課関係

- ・家庭教育支援チーム会議 1 2 / 5 (木)
- ・地域教育協議会（邑久小） 1 2 / 6 (金)

○ 社会体育関係

- ・県スポーツ推進委員協議会備前支部スキルアップの会研修会 1 2 / 7 (土)

(市スポーツ協会)

- ・歩こう会：備中松山城コース 1 2 / 1 (日)
- ・ソフトテニス大会 1 2 / 1 (日)

- ・スポーツウェルネス吹矢教室対抗戦 12 / 7 (土)
 - ・ゴルフ大会 (長船CC) 12 / 14 (土)
 - ・硬式テニス交流会 12 / 15 (日)
- 公民館 ※ 年末年始閉館日 12/29～1/3
- (中央公民館)
- ・はじめてのエクセル 2021 講座②～⑥ 12 / 1・14・15・21・22
 - ・邑悠学級：「津軽三味線演奏会&
クリスマスにビンゴで楽しもう」 12 / 19 (木)
 - ・せとうちおもちゃの病院 12 / 21 (土)
 - ・パソコン何でも相談会 12 / 17 (火)
- <瀬戸内市民芸術祭>
- ・Merry こども Xmas 2024 12 / 8 (日)
 - ・第47回邑久吹奏楽団定期演奏会 12 / 15 (日)
 - ・芸術祭閉会式 12 / 22 (日)
- (牛窓町公民館)
- ・地域再発見ウォーキング：五色の島を巡って学ぶ黒島 12 / 8 (日)
 - ・花のある暮らし：クリスマスとお正月のアレンジメント 12 / 12 (木)
 - ・いきいき学級：「尿失禁の原因・対策と予防体操」 12 / 13 (金)
- (長船町公民館)
- ・ふれあい学級：クリスマス会&オカリナ演奏 12 / 12 (木)
 - ・うさぎの学校：お楽しみ会 12 / 17 (火)
 - ・地元まるごといただきます：おせち料理を作ろう 12 / 19 (木)
- <菊づくり講座>
- 大菊の部：1年間の振り返り、親株の管理等 12 / 7 (土)
- 図書館 ※ 年末年始閉館日：12/29 (日)～1/4 (土)
- ・ナチュラルリースをつくってみよう 12 / 1 (日)
 - ・障害者週間連携展示 (福祉課) (カフェカウンター) 12 / 3 (火)～8日 (日)
 - ・おんどく倶楽部よむもみわ 12 / 6 (金)
 - ・アマチュア人形劇団協議会第84回定期公演
出演 星の子きらり 演目「ゆらゆら橋のうえで」 12 / 8 (日)
 - ・裳掛移動図書館 12 / 12 (木)
 - ・もみわセミナーvol.65 講演会ハンセン病人権漫画『麦ばあの島』を描いて
講師 古林 海月 (漫画家) 12 / 14 (土)
 - ・もみわシネマ：「素晴らしき哉、人生！」 12 / 15 (日)
 - ・もみわシネマ：冬休みだよ！アニメ劇場「猫の恩返し」 12 / 28 (土)
 - ・もみわりサイクル広場 (市民図書館) 12 / 20 (金)・21 (土)

・雑誌の付録プレゼント（市民図書館） 12/21（土）

・こどもシネマ：ウィンタースペシャル 12/22（日）

「タイタンの冒険 ユニコーン号の秘密」

<せとうち発見の道>

・企画展「山陽新聞の題字を書いた 瀬戸内市の書道家 大原桂南」

11月28日（木）から3月2日（日）

<おはなし会>

・市民：乳幼児対象 12/4（水）・18（水）

：幼児～小学校低学年対象 12/14（土）・28（土）

・牛窓：幼児～小学校低学年対象 12/7（土）

・長船：乳幼児 12/11（水）

：幼児～小学校低学年対象 12/21（土）

<おすすめ展示>

・市民：児童「ハッピークリスマス」 ～12/28（土）

：一般「直木賞VS芥川賞」 //

：YA「enjoy art！！」 //

・牛窓：「年末年始のおもてなし」 //

・長船：「みんなでクリスマス」 //

（図書館友の会 協働提案事業）

・講演会 トライフープ岡山の軌跡と進化

講師 大森 勇（マネージャー兼ヘッドコーチ） 12/8（日）

・講演会 野鳥観察入門

講師 日下 友章（元山陽新聞専務取締役） 12/22（日）

（野いちごふれあいサロン）

ママカフェ 12/13（金）

（その他）

・市長杯第18回瀬戸内市空手道錬成大会 12/8（日）

・瀬戸内市応急手当職員研修（教育委員会） 12/10（火）～12（木）

・牛窓中学校3年「牛窓の未来を考える会」（Zoom）12/23（月）

金光委員 統廃合のことはよく新聞に掲載されるので気になっている。赤磐市はどうか。

渡邊参事 赤磐市は、赤坂地区の小学校3校が令和8年4月に現在の石相小学校へ合併することが決定した。

金光委員 小中一貫という話はなくなったのか。

渡邊参事 いずれ学園のようにする予定だが、とりあえず小学校3校から。

金光委員	瀬戸内市はどうするか。
萩原教育長	牛窓地区はしないと難しいと思う。
金光委員	人数を見ても厳しいと思う。
萩原教育長	美和小と裳掛小はもっと少なくなり、教頭が担任をしないといけない時代が数年先には来る。でも、地元の方は残したい。
金光委員	今の時点では白紙ということか。
萩原教育長	白紙で残すという方向で、小規模特認で頑張り、特色を作ってもらっている。今年の結果のとおりで、もう少し早い段階で新1年生になる保護者の方に周知する必要があるという反省点があがっている。周知をしたから増えるかというと、なかなか難しい。素晴らしい特色、例えば英語教育をしたいという声が地域から上がっている。
金光委員	総社の五つ星学園のことで知っていることがあるか。
萩原教育長	五つ星学園は、6・3制ではなく5・4制である。以前から英語特区で、英語教育に力を入れていたので、集まってきやすい。また、JR駅から徒歩圏内なので交通の便が良く、市外からの通学も可能。
井手委員	地域でかなり差があると思うが、特色のある教育や環境があると持続可能だと思うが、予算と人が関わってくると思う。
萩原教育長	予算と人が関わってくると5年、10年。例えば牛窓地区を義務教育学校にしようとしても、来年からという訳にはいかないの、今から5年ぐらいかかると思う。また、そこで子どもの人数を見ながらどこで声を掛けていくか。ただ、これだけ厳しくなった事を委員の皆さんや色々な方は見ていない。令和18年度には中学生の人数が厳しくなっているので、次は牛窓中学校を邑久中学校へ持っていけないといけない事が考えられるので、そうならないように、義務教育学校にしていると、それを解消して邑久中学校へ持っていく事は出来ないと思うので、義務教育学校にする必要があるのではと思っている。
井手委員	数字や教員の配置みたいなものは、学校教育法や指導要領に決まっているものがあるのか。
萩原教育長	ないです。新見市の全校12人と19人の学校の保護者の代表が市に隣の学校と統廃合してほしいという要望書を持ってきたことにより統廃合が決定した。
井手委員	要するに、保護者の方の意向が一番大きい。
萩原教育長	津山市は統廃合検討の要件に入れている。保護者や地域の方が納得してくれないと上手くいかないと思う。
井手委員	お知らせは十分にされているのか。
萩原教育長	まだです。コミュニティスクールを立ち上げて、そこから話をしていく予定。
井手委員	それはいつ頃始まるのか。

- 萩原教育長 牛窓東小学校と牛窓中学校は、令和7年4月から。次の年に牛窓西小学校と牛窓北小学校には行っていただきたいと思います。
- 井手委員 数字が出ているので、予めこういうことが起こるということを周知する必要があると思う。そこで皆さんがどうしたいのか、なにを望んでいるのか。
- 萩原教育長 残したいという意見が沢山あると思う。平成19年の時には、ここまで人数が減ることが予想されていなかったと思うが、その時の意見を読むと、小学校を地区に残してほしい、シンボルだ。という声もあった。
- 井手委員 保護者の方は様々な情報を入手できないので、できるだけ情報を集めて教育委員会や学校からお知らせすべきだと思う。
- 山本委員 平成19年の時に小学校の統廃合に関する答申書をいただいていると思うが、この時点の学校教育法第1条に、義務教育学校、小中一貫校はまだ規定されていなかった。次に議論する時には、義務教育学校というのが平成19年を土台にすると出てくる。これからどうなるにしても私が委員である間は一緒に考えていきたいと思う。私の住んでいる地域の小学校が無くなると思うと、地域の方は、地域の支えが無くなると思う。
- 金光委員 個人的には、今いる子ども達の未来のために、どちらが幸せなのかという視点で学校教育は決断しないといけないのではと思う。
- 金光委員 学校に勤めていた頃、公には言わないが、地域のお年寄りの方は小学校を無くしてほしいが、保護者の方は自分の子どもの教育を考えると、少人数でなにができるのかと不安に思っている方が多い。でも田舎だと、三世代と一緒に住んでおり、若い方があまり自分の考えを主張しにくい。結局、地域の意向となると一度無くなってしまった。あまりにも減っていき遂に3校統合となった。コミュニティスクールで保護者の意見を吸いあげるとはとても良い方法だと思う。
- 萩原教育長 3つの小学校が同じような方向を向かないといけないので少し時間がかかると思う。ただ、議員から質問があがってきたので、ワンステップ上がったように思う。

3. 前回会議録の承認

署名委員 山本 正 委員 井手 康人 委員

4. 議 事

萩原教育長 議事進行

第63号議案 会計年度任用職員の退職について

河原課長	(資料を基に説明)
山本委員	夜間業務員の方の勤務時間は決まっているのか。
富岡館長	17時から22時です。職員が退勤した後の窓口対応、施設の利用料の受取り、施設の戸締り等の業務をいただいている。
全委員	<異議なし>
第64号議案	学校薬剤師の委嘱について
河原課長	(資料を基に説明)
全委員	<異議なし>
第65号議案	瀬戸内市学校給食費に関する条例施行規則の一部改正について
森山所長	(資料を基に説明)
山本委員	学校給食申込書について、「年月日」と書いているが、元号や西暦はつくのか。
森山所長	様式については、元号が入らないようになっている。使用する際には元号を記載していただく。
山本委員	利用する側としては、西暦か元号か迷うと思った。
森山所長	様式については元号を入れない。西暦でも元号でもどちらで記載しても良い。
金光委員	教育長報告の、子どもが安全に安心して過ごせる環境整備「給食費の無償化」とあるが、これはどういう意味か。
森山所長	今年度については、4月から9月までは国の交付金を使用し、給食費無償化を実施したが、来年度も同様に無償化が可能なのか。という一般質問が出た。まだ国の予算も決まっていなかったため、今後検討すると回答した。
	交付金があることが決まり、調理場としては給食費の無償化の提案を提出予定です。
金光委員	半年になるか、1年になるかは分からない。
山本次長	交付金自体が1億円弱という枠があるので、例えば半年分給食費を無償化となると、交付金のほとんどを占めるようになってしまい、他の事業が全くできないため、他の事業との兼ね合いでいきますので、現時点でどれぐらい無償化ができるかは申し上げられない。
全委員	<異議なし>
第66号議案	令和7年度使用教科用図書の採択について
	<非公開>
第67号議案	準要保護児童生徒の認定について
	<非公開>

萩原教育長 非公開審議を終了することを宣する。

5. その他

・瀬戸内市の部活動地域移行の検討状況について

二丹係長 (資料を基に説明)

金光委員 こんなにもしていただけるのはとてもありがたいが、できるのか。

二丹係長 平日はなかなか想像がつかないが、まずは休日から進めて行き、段階的に進めて行きたいと思う。

山本委員 国のスケジュールでは、令和5年から令和7年度末を目指していると思うが、瀬戸内市は、1年遅れて令和8年度末にそれを実現するという考えは良いと思う。一歩先を行っている自治体があるので、その自治体に行き、勉強を試みるのはどうか。

部活動地域移行を実現するのは、本当に難しいと思う。教育委員会の勉強会で、部活動の地域移行の話を積極的に行っている岡山大学の先生の話聞いた際に、とても難しいと思った。講師の方の立場は、とにかく地域移行をして行く。子ども達が多様な部活経験を持てるようにという視点から進めて行く考えだった。結局最後には、指導者をどうするかとなった時に、先生にお願いするという考えだった。先生方でないと子ども達扱いを指導できる人がいない。子ども達や指導者のためにも先生方に出てきていただく。それでは一方で教師の負担軽減にはならないが、兼職を認めてもらい、それぞれの先生が地域で行い、校長からの命令ではないが、結局先生はしないといけな気持ちになってしまう。問題は山積みのままスタートすることになるかもしれないが、この機を逃してしまうとできないと思う。色々あると思うが、とりあえず進めて行き、問題点を洗い出し、改善していくという流れではないと行えないと思う。最初から完璧な形での地域移行は難しいと思った。

金光委員 瀬戸内市規模で行っている地域はあるのか。

山本委員 東京や淡路島の辺りで進んでいるところがあると聞いたことがある。

井手委員 県展には、彫刻や写真など6部門あり、その運営会議で問題になっていることは、若い人が出品しなくなった。各専門の方は子ども達について色々な手段を考えようとしている。県内でも出品されている作家に接触する機会をどこか市の芸術やスポーツ関係の方々に働きかけする。専門家になろうとしている方の指導をそれぞれの分野で分担していく。各分野の後継者を欲しているのが現状。ずっとは難しいので、それぞれの分野が回って行っていくことはどうか。専門の方は喜ぶと思うが、予算や材料費の事について考えないといけない。それは腹を割って相談し、実際に物を使わずに子ども達と話し合

い、その世界を知ってもらっただけでも違うと思う。お金の掛からない方法で色々な選択肢や知識を広げていくことがお互いの良い刺激になると思う。

萩原教育長 長野県の自治体の話を聞いた際に、4回シリーズで同時に5つか6つ講座を立て、行きたい方が行くものをしている。後継者を育てたいから、自分たちが行っている文化的な活動をしている。活動費が受益者負担で1回が200円ほどなので全部で1,000円ほどになるので可能なかと思う。学校の教員がしていたら特勤だったのが無くなり、謝金の支払いが発生した場合の予算の確保。また、部活動から離れてしまうと、スポーツ振興センターの対象外となると、けがをした時や行き来の保険が必要になることも考えられるので、どこまでご家庭が負担できるのか。今ほどの部活動の加入率ではなく、半分ぐらいになるのでは。

井手委員 基本的に受益者に負担をかけない。専門分野の方が学校に出向き近くで行う。それぞれの専門分野の方は危機感を持っているので、お金はいらい。となるかもしれない。それについては話し合いが必要。

萩原教育長 公民館を無償で利用するとなると、ルール作りを併せて行っていく必要がある。

渡邊参事 今の若い世代に部活動の指導をしたいという教員が少なくなっている。まず、教員採用試験が部活動で採用ではなく教科指導という原点に戻ってしまえばもっともである。以前は、部活動の指導を行いたい教員が多かったので、子ども達を育てるなら教育の場だと考えも分かる。一方でそのような思いを持っている方は少なくなってきたおり、スポーツ指導と教育を無理やり結び付けられようとしているように感じる。クラブチームは学校の教員は関係なくされているところが多い。時間やお金をかけてでもそのクラブチームに入らせたい保護者の方は今もいる。その中で、保護者負担を掛けずに今と同じような環境となった時に地域移行となった。地域の人材やその後の後継者がいるのかというのは次元の違う課題だと思う。今社会教育で進めているところを、学校教育で協力できる部分はあると思う。ただ、教員ありきで進めて行かないと、いつか行き詰ってしまうと思う。

井手委員 お互いの可能な範囲を探っていく事が大事。

山本委員 岡山大学の先生が岡山県の推進役になっている。教員の働き方改革からすると少し気になる点はあるが、先生が居なければ岡山県の地域移行は進んでいけないと思うので、知恵を借りて進めてくれたらと思う。

○次回開催日について

令和7年1月31日（金）13：30から

6. 閉 会 （14時45分閉会）